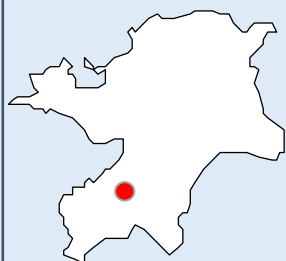


13 一般社団法人八女機能性作物協会（福岡県八女市）

産地の概要



品 目

ソヨウ（シソ）、ボクソク

栽培面積

計 5 ha（ソヨウ4.8ha、ボクソク0.3ha）（令和6年10月時点）

栽培戸数

5戸

取組体制

（一社）八女機能性作物協会（以下、八女機能性作物協会）
（試験栽培の実施）

株式会社中村園（関係機関との調整）

大学（生産技術の省力化の検討・実証）

製薬メーカー（受入数量の調整・品質向上に向けた検討）

特 徴

協会メンバーがもつ乾燥技術で高品質な製品を生産

Global G.A.P取得メンバーによる生産工程管理のノウハウの横展開

取組の背景

もともと地域の産業化に向けて機能性作物の生産に興味がある生産者で、前身の「八女ハーブ生産者協会」を立ち上げた。中心メンバーがソヨウの生産に成功したことから、令和5年度、薬用作物をはじめとする機能性作物の地域ブランド化やその品質強化を図るために「八女機能性作物協会」と改め、新たな品目の試験栽培や需要に応じた品質確保に向けた生産マニュアルの作成、生産者への周知等を行った。



▲ソヨウの生産状況

品目選定理由

- ・協会の中心メンバーがもともとハーブの生産をしており、ハーブにシソ科植物が多かったのでソヨウに着目。
- ・薬用作物産地支援協議会のマッチングページにソヨウがあったため、需要があること、また、薬用作物は契約生産で価格が安定しているため持続的な営農が期待できることから選定した。

課 題

- ・価格は安定しているが高くないため、低コスト高収量を目指す省力化の中で、高品質を保つこと
- ・求められる品質に必要な生産状況の管理記録を作成経験のない生産者に作成してもらうこと

主な取組内容

①種苗

- ・種苗は製薬メーカーから協会へ提供。一部メンバーが生産し他のメンバーに提供

②栽培管理

- ・年2回程度、栽培情報の作業管理に関する勉強会を開催
- ・作業リストにより作業別に目標を設定して作業を実施
目標と実作業を比較し、作業の効率化に取り組む
- ・メーカーの求める品質規格にあった、高品質な作物の生産に向けた支援
- ・改良した定植機の使用やマルチによる雑草対策、乾燥機の大型化等により、効率の良い生産に取り組む

③加工・調製

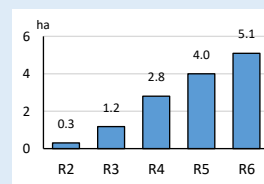
- ・メンバーの1戸に乾燥調製設備を整備し、一括した加工・調製を実施

④集出荷

- ・乾燥調製後、袋詰めして出荷



▲勉強会の様子



▲生産面積の推移

成 果

【取組による定量的な成果】（2品目合計）

薬用作物面積拡大 R2：0.3ha → R5：4.3ha

出荷量増加 R2：0.06t → R5：5.6t

今後の展開

- ・産地として薬用作物の生産を活性化し、予防医療・健康産業につなげ、健康とともに自然をつくっていく
- ・生産技術を高め、効率的で高品質な安定生産をする